



2022年2月14日

各 位

シライ電子工業株式会社
代表取締役社長 大塚昌彦
(コード番号: 6658)
問い合わせ先: 取締役 経営管理
経営構造改革担当
五藤 学
電話番号: 075-861-8100

2022年3月期連結業績予想の修正(上方)及び営業外費用の計上
並びに繰延税金資産の計上について

最近の業績動向を踏まえ、2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を上方修正するとともに、2022年3月期第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)におきまして、下記の通り営業外損失の計上及び繰延税金資産の計上を行うことになりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

① 連結業績予想数値

(単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	27,500	900	850	900	64.40
今回修正予想(B)	28,500	1,200	1,150	1,250	89.51
増減額(B-A)	1,000	300	300	350	—
増減率(%)	3.6	33.3	35.3	38.9	—
(ご参考)前期実績 2021年3月期	22,355	119	5	△208	△14.96

② 修正の理由

上期に引き続きカーエレクトロニクスを中心に受注状況が堅調に推移しており、変異株の感染急拡大や半導体の不足に起因した不確実性はあるものの、経営構造改革による全社的な意思決定の迅速化と経営資源の再配分により、筋肉質な経営体質への転換を図れたことで前回発表予想値を上回る見込みとなります。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性がございます。

2. 営業外損失の計上

中国にある持分法適用関連会社である科恵白井電路有限公司の業績が悪化し当期末連結決算におきまして、営業外費用に79百万円の持分法による投資損失を計上いたしました。

3. 繰延税金資産の計上

今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、スケジューリングが可能となった将来減算一時差異について2022年3月期第3四半期に繰延税金資産の追加計上することといたしました。これに伴い、法人税等調整額(益)を270百万円計上いたしました。

以 上